

令和8年度 児童養護施設・林鐘園



<施設概要>

社会福祉法人 林鐘園

所在地
石川県金沢市

設立
昭和22年10月

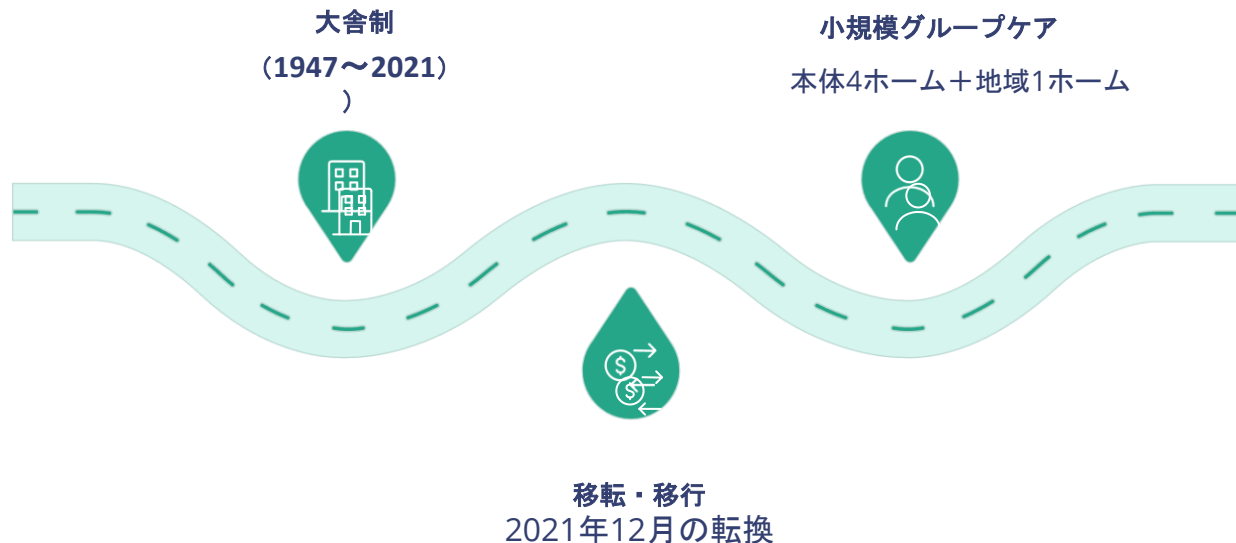
定員
30名

現員
24名
(令和8年4月1日現在、地域小規模含む)



<施設形態の変遷>

大舎制から小規模グループケアへ



本体施設

- ・ A棟 男子棟
- ・ B棟 男子棟
- ・ C棟 女子棟
- ・ D棟 男女混合棟

地域小規模児童養護施設

- ・ すずみ台ホーム（男女混合）
- ・ 2014年4月に開設

<林鐘園の現状>

2016年～2026年の数値

勤務状況

8.5年

勤務年数平均

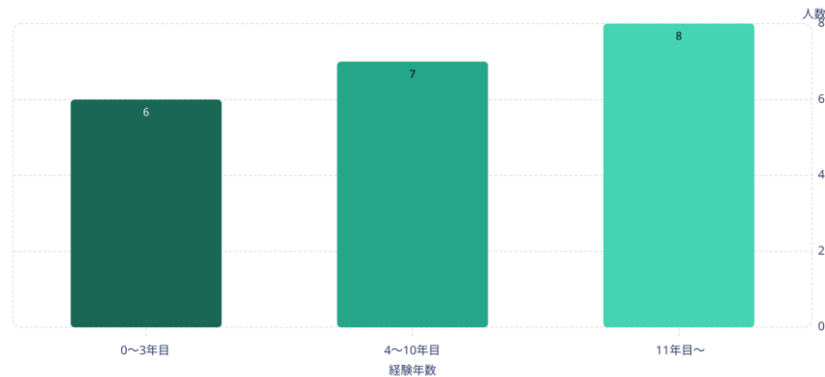
3.5%

離職率

2026年度 養育者の内訳（21名）

21

Total 人数



<小規模移行後の課題>

現場の新たな育成・定着の課題

職員交流の減少

職員同士の交流が圧倒的に少なくなり、横のつながりが希薄化しています。

養育の質の担保

施設が分散化されたことで、統一した養育の質を維持することが難しくなっています。

職員の孤立化

各ホームに配置された職員が孤立しやすく、精神的な負担が増大しています。

課題の見えにくさ

他棟の現状把握が難しく、問題や課題が埋もれやすい状況が生まれています。



＜課題解決のための取り組み＞

育成と定着：園内研修

① 育成がうまくいかなければ、確保しても定着にはつながらない。育成が定着への第一歩です。



新人研修（講義形式）

養育の質向上を目的とした体系的な講義形式の研修を実施しています。



生と性の研修

性被害・加害防止を目的としたロールプレイを含む実践的な研修です。



接遇研修

理念の確認とコミュニケーションスキルの習得を通じて、職員の対人力を高めます。



調理実習

調理スキルアップと職員交流を兼ねた実習で、チームの絆を深めます。

<課題解決のための取り組み>

育成と定着：会議・その他

会議を通じた現状把握と課題解決

1

☆チーム会☆

現場の声を集約

2

☆リーダー会☆

課題を整理・吸い上げ

3

☆責任者会議☆

解決策を決定・実行

その他の取り組み（交流促進）

→ 顔写真付き配置図

職員の顔写真付き配置図を作成し、他棟の職員を把握しやすくしています。

→ キントーン導入

連絡網・日誌・養育BOX・車両予約を一元管理。
作業効率化により、子どもと関わる時間を最大化しています。



<課題解決のための取り組み>

育成と定着：外部連携

外部研修を通じた学びと交流

石川県内の養護研修会

- ・ 年4回の定期研修
- ・ 養護講演会への参加
- ・ 職員交流会の実施

実行委員会（園外）への参加

養育職員会

あゆみ編集委員

高校生交流会実行委員

園外の活動を通じて、職員が広いネットワークを築き、専門性を高めています。

<職場環境の整備>

定着

ワークライフバランスへの配慮

☆育児の短時間勤務☆

子育て中の職員が安心して働き続けられるよう、短時間勤務制度を整備しています。

☆介護の短時間勤務☆

家族の介護が必要な職員に対しても、柔軟な勤務形態を提供しています。

☆イフサイクルに合わせた勤務調整☆

職員一人ひとりの人生のステージに応じた勤務調整を行い、長期的な就労を支援しています。



<小規模移行後の確保のメリット>

実習生への好影響



家庭的な環境が生む好循環

家庭的な雰囲気を感じ

実習生が大舎制では味わえない、温かく家庭的な雰囲気を直接体験できます。

子どもたちとの密な関わり

少人数環境のため、実習生が子どもたち一人ひとりと深く関わることができます。

実習が楽しいと感じる学生が増加

充実した実習体験が、将来の就職先として林鐘園を選ぶ動機につながっています。

＜確保の現状と定着へのつながり＞

新規採用の傾向

01

実習生として来園

新採のほとんどが実習生として林鐘園と出会います。

02

アルバイト・管理宿直

実習後にアルバイトや管理宿直として継続的に関わります。

03

正規職員として就職

施設への理解を深めた上で正式採用へとつながります。

定着率向上と業務効率化

- ☑ 林鐘園の事前理解があるため、入職後の定着率が大幅に向上しています。

業務説明の簡略化

施設の文化・理念・業務内容をすでに理解しているため、入職後の業務説明を大幅に省略できます。

即戦力としての活躍

子どもたちとの関係性も構築済みのため、スムーズに現場に溶け込めます。